

令和6年8月 斐伊川水系水質情報

令和6年8月(宍道湖20日・中海8日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	5.0	△	平 年 並 み	3.6	△	平 年 並 み	5.9	×	やや高い
全窒素	上層	0.43	△	平 年 並 み	0.34	○	良好(平年並み)	0.38	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.075	×	やや高い	0.055	×	やや高い	0.077	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	20	△	平 年 並 み	6.0	△	平 年 並 み	8.4	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	2,950	△	平 年 並 み	10,400	△	平 年 並 み	9,500	△	平 年 並 み
	下層	3,340	△	平 年 並 み	16,400	△	平 年 並 み	11,700	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	8.6		やや低い	8.3		やや低い	11.0		平 年 並 み
	下層	6.0		やや低い	2.8		やや低い	7.9		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	3.9	上昇	3.7	横ばい	4.8	やや上昇
全窒素	上層	0.33	やや上昇	0.33	横ばい	0.40	横ばい
全リン	上層	0.036	上昇	0.063	やや下降	0.061	やや上昇

宍道湖の透明度は1.9mから1.6mとやや下降し、平年並み。中海の透明度は2.3mから2.8mとやや上昇し、平年並み。米子湾の透明度は1.8mから1.7mと横ばいで、平年並みとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

- 前月値±標準偏差値以上、以下の変化.....
 上昇、下降
 注) 平均値±標準偏差値全体のおよそ68.2%
- 前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化・・
 やや上昇、やや下降、横ばい
 平均値±標準偏差値の2倍・・全体のおよそ95.5%
- 前月値±標準偏差値の1/2以内の変化・・
 横ばい
 平均値±標準偏差値の3倍・・全体のおよそ99.7%